

総務文教常任委員会

委員長 基一 小林
副委員長 健二 原口
委員 正一 木並
男 松本
美 福田
吾 富岡
子 美山
淳 信智 大守 屋

熊谷市税条例の一部を改正する条例

問 災害に伴う、半壊等の住宅の被害認定の基準について伺いたい。

答 内閣府の『災害の被害認定基準』に基づき認定する。屋根や外壁、その他部位別に損害割合が定まっており、一定の割合以上の建物を、半壊・大規模半壊・全壊と判定している。
(所管課・資産税課)

工事請負契約の締結について(熊谷市立熊谷東小学校屋内運動場建築工事)

問 屋内運動場の建築に向けて、どのくらい前から準備に入るのか伺いたい。

答 屋内運動場の設計は、前年度に行う。学校等とも協議をしながら、新年度の建築工事費等の予算要求の頃までには、構造等は既に決まってしまう。

問 アリーナの広さは、どのように決めているのか。

答 中学校については、メインのバスケットボールコートが1面とれる広さ、小学校については、サブのバレーボールコートが2面とれる広さを基準に決めている。この決め方は、前年度に建築した小・中学校の屋内運動場の広さの決め方と同様である。

(所管課・教育総務課)

財産の取得について(消防ポンプ自動車)

問 ポンプ車を持っていない分団もあるのか。またポンプ車の更新は、耐用年数を考慮しながら、毎年度行っていく必要があるのか。

答 ポンプ車を持っていない分団は、2分団で、女性小隊は救命講習や広報活動が主な業務である。また、団本部小隊は、他の分団が安全に活動できるよう交通整理や警備などの後方支援を主な業務としている。また、ポンプ車の更新については、耐用年数15年とみているが、NOx等の排ガス規制等を勘案しながら更新整備を図っている。
(所管課・警防課)

財産の取得について(救助工作車)

問 本市には救助工作車は何台あるのか。

答 熊谷消防署に救助工作車Ⅱ型1台、玉井分署に救助工作車Ⅲ型1台の2台である。今回は玉井分署の救助工作車を更新するものである。
(所管課・警防課)

福祉環境常任委員会

委員長 新一 森
副委員長 三千夫 黒澤
委員 清次 新井
昭安 新井
兵衛 松岡
和一 三浦
市郎 松本
浩 大嶋

平成23年度一般会計補正予算(民生費)について

問 「市民しあわせ基金」について、基金に積立てられた寄附金が、どのように使われているのか具体的に伺いたい。

答 平成22年度の主な事業では、紙おむつ給付事業、遺児手当、保育所・児童館等における図書購入費等が挙げられる。

問 寄附をいただいた方へのフィードバックを何か行っているのか伺いたい。

答 寄附をいただいた時に感謝の意を表すと共に、後日感謝状を届けている。
(所管課・福祉課)



都市建設常任委員会

委員長 正夫 新井
副委員長 高広 関野
委員 秋千 加賀
一貫 小林
宣延 須永
実生 杉田
弥 関口
厚 小池

市道路線の認定・廃止について

問 路線の廃止の要請は、隣接地から出されたものか、また売り払いの土地単価は、どのような設定であるのか。

答 路線の廃止は、隣接地権者からの相談に基づき行うものである。また、売り払いの単価については、不動産鑑定に基づいたものである。
(所管課・管理課)

